



発行 授業研究部

## 道徳教育の基礎・基本について・その2

### － 基礎・基本を確実に身につける学習指導の工夫 －

#### 1. 道徳教育における基礎・基本のとらえ方

##### (2) すべての教育活動の根底に道徳教育を位置づける

###### ① 学校経営案の中に中核として示す

各学校の教育目標を見ると、多くが知・徳・体にかかわってキーワード的な言葉が示されている。しかし、それらは並列ではない。知・徳・体を包み込んで、豊かな人間形成を図っていくのである。それぞれが人間としてどう生きるかというところに統一されていかなければならない。つまり、徳に関する部分を中心として統一を図っていくことが必要になる。

※本校のめざす子ども像は、「自主・創造・健康」とありますが、さて、中心的な「徳」にあたるのはなんなのでしょう？

###### ② 道徳教育の全体計画を生きてはたらくものにする

それぞれの教育活動の計画において、道徳教育の全体計画の中に書かれてあることが、しっかりと反映されていなければならない。

##### (3) 道徳の時間を道徳教育のかなめとして位置づける

###### ① 補充，深化，統合

###### ② 道徳的価値の自覚を深める

その1 道徳的価値を理解すること。

その2 その道徳的価値を，自分とのかかわりでとらえられること。

その3 自分を冷静に見つめるだけでなく，その価値の実現を求めて，自分を高めていこうという心の高揚が起こったり，自己課題を自ら見いだそうとする心の動きが起こること。

###### ③ 道徳的実践力の育成

一つひとつの道徳的価値の自覚を深めていくと同時に，それらを自分なりに総合していくことが必要である。それが，本当の道徳的実践力となるのである。

#### 2. 道徳教育の指導計画改善の工夫

### (1) 全体計画の工夫・改善

○ 道徳教育の内容は、様々な教育活動の中ではぐくまれる。各教科等の目標や内容において、内容項目に対する学習がどのようにできるかを考えることによって、各教科の特質に応じた道徳教育が見えてくる。そのことによって、教師の子どもを見る目や評価の視点が広がっていく。

※各教科における道徳教育については、本校で今後、評価の視点について議論していかなければならない点だと思います。

### (2) 年間指導計画の工夫・改善

○ 1時間をどう展開するだけでなく、その授業に関連してどのような学習活動がかかわりを持っているのかを押さえておく必要がある。

※前回の研修会で、「指導案」の形式について、「3 他教科との関連」と書くようにと取り決めましたが、この部分には教科だけでなく学校の教育活動全般から見た視点を書く必要があります。だから、「3 他教科等との関連」とか「3 他の学習活動との関連」とかすべきだと思います。また、今後の道徳の授業は、その1時間の道徳の授業が、前・後の教育活動・学習活動にどう関わっていくかを考えることが必要となってきます。

○ 道徳の時間は、学校経営や学級経営に豊かな人間形成という芯を通す役割があることを意識して、35時間をトータルにとらえ、多様な指導方法を工夫する必要がある。

○ 1時間ずつの指導では、子供の変化は見えにくいですが、長期的な指導の中で、子供は自己を見る目をじっくりと育てていくことができる。

○ 道徳の時間の年間指導計画は、全体計画とともに、学校として子供の道徳性の成長発達を促すための設計図の役割を果たしている。

○ 重点主題に関わる内容項目の指導時数を増やしたり、指導を連続させたり、資料の順番を工夫したりして、発展的指導の創意工夫を図ることができる。

### (3) 道徳教育の学級における指導計画の工夫・改善

○ 学級における指導計画を、子どもたちや保護者にも分かるような形で簡略に作り直し、子供や保護者にも目標や計画が記入できるようにしておく、過程との連携にも大いに役立たせることができる。